



い りょう けい かく

さっぽろ医療計画

けん こう あん しん く
健康で安心な暮らしのために



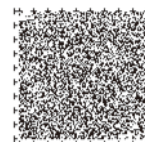
がい よう ばん
概要版



さっ ぽろ し
札幌市

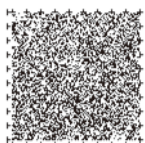
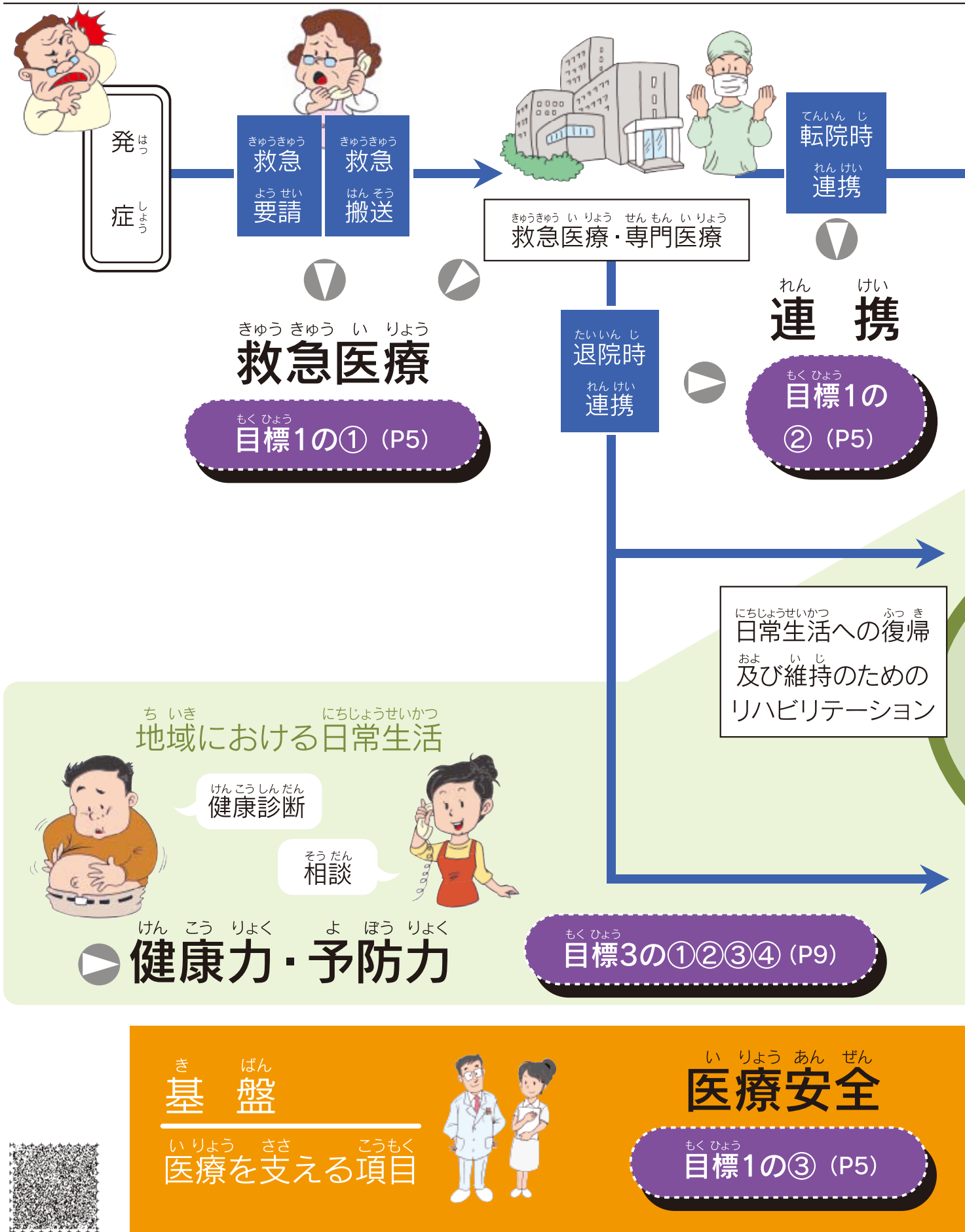
おんせい
音声コード

しかく、しやう
視覚に障がいのある方などの
たつし、おんせい
ために、活字文書読上げ装置
で、情報を音声で聞くことが
できます。



へい せい ねん ど ねん ど
平成 24~29 年度 (2012~2017 年度)

さっぽろ医療計画の全体像



い りょうけい かく い りょう う と き な が か ん けい の う そ つ ち ゅ う れ い
 ~医療計画と医療を受ける時の流れの関係(脳卒中を例として)~



あ お や じ る し い り ょ う う
 青い矢印は、医療を受ける
 と き な が し め
 時の流れを示します。

し ん た い き の う か い ふ く
 身体機能を回復させる
 リハビリテーション

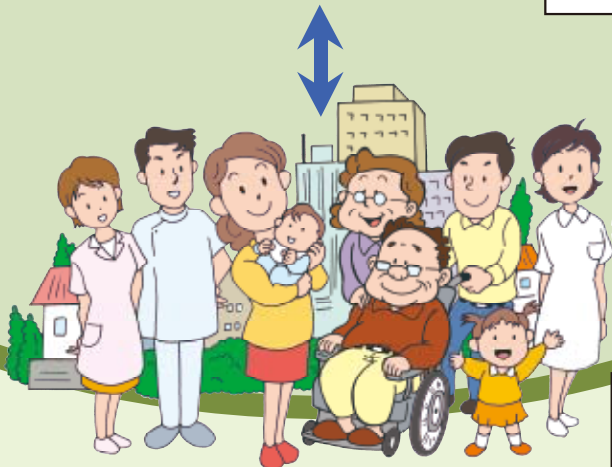
て ん い ん た い い ん し
 転院・退院時

れ ん け い
 連携



た い い ん た い し ょ つ う い ん
 退院・退所・通院、
 ざ い た く り ょ う よ う し え ん
 在宅療養支援

せ い か つ ば
 生活の場における
 り ょ う よ う し え ん
 療養支援



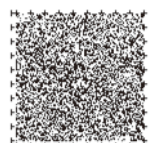
ち い き い り ょ う
 地域の医療

も く ひ ょ う
 目標2の①②③④ (P7)

ざ い た く な ど せ い か つ
 在宅等での生活

さ い が い し い り ょ う
 災害時医療

も く ひ ょ う
 目標1の④ (P5)



1 計画策定の背景

現状

平成22年10月1日現在

	人口10万人あたりの病院数	人口10万人あたりの病床数 (病院)
札幌市	10.9 施設/10万人	1,960 床/10万人
全国平均	6.8 施設/10万人	1,244 床/10万人
政令指定都市の 中の順位	第1位	第1位

医療機能は充実しているけれども
これからは…

課題

今後、高齢化が進むと、病気の人が増えるだろう。
救急医療の体制も心配だな。



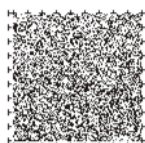
病気になっても、できれば住み慣れた地域で暮らし続けたいわね。まずは、なるべく健康でいることが大切ね。

身近な診療所と専門病院の役割分担を進めるなど、医療に関わる人や施設が効果的に連携することが必要だと思う。



将来を見据えた
体系的な取組が必要

さっぽろ医療計画の策定



2 計画の基本理念と目標、計画期間

基本理念

市民が生涯を通して健康で安心して暮らせる
社会の実現に向けた医療システムの確立

目標1 安心を支える医療システムの構築

目標2 地域と結びついた医療の強化

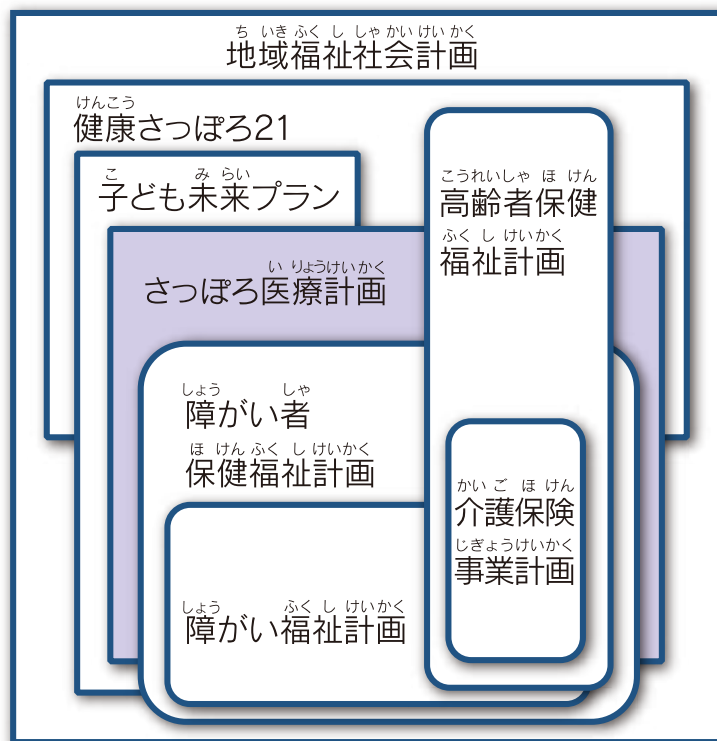
目標3 市民の健康力・予防力の向上

さっぽろ医療計画と
札幌市の保健福祉分
野における各種計画
との関係は、右図の
ようになります。

小

ニーズ・
支援必要度

大



子ども・若年層

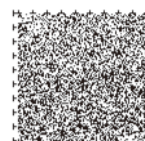
年齢

高齢層

計画期間

平成24年度～29年度（6年間）

（平成26年度に中間評価、平成29年度に最終評価）



3 三つの目標と施策

目標1 安心を支える医療システムの構築

市民が疾病状況に応じて必要な時に必要な医療を受けることができるよう、救急医療機能のさらなる充実や医療機関相互及び介護施設との連携、医療安全対策等の強化を図り、安心を支える医療システムの構築を推進します。また、大規模災害時の医療体制の強化や広域的な医療連携の強化に取り組めます。

施策と取組内容の例

① 救急医療機能のさらなる充実と適切な利用の促進

- (仮称) 救急安心センターさつぼろ^{※1}の設置・運営
- 救急医療の適切な利用の普及啓発

② 医療機関相互及び介護施設との連携強化

- 地域医療室連携システム^{※2}の活用・強化
- 北海道が作成する連携ノート^{※3}の普及

③ 医療安全対策の推進

- 医療機関や薬事関係施設への立入検査の充実
- 医療安全相談窓口の運営

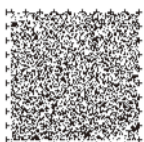
④ 災害時医療体制の強化・広域連携の推進

- 札幌市地域防災計画における医療救援体制の充実・強化
- 札幌市新型インフルエンザ対策行動計画の推進

※1…急に具合が悪くなった時などに、専門の相談員が対応方法や受診先などのアドバイスを
急病時の電話相談です。(平成25年度中に開設予定)

※2…医療機関の間で患者紹介を行う地域医療室(平成23年2月現在39か所)が、高度な医療機器の共同利用などを通して広域的に連携する機能です。札幌市医師会が運営しています。

※3…地域医療連携パス(急性期から在宅に至るまでの医療を切れ目なく効果的に提供するため、医療機関の間で共有する一連の診療計画)のひとつとして、北海道では、平成24年1月現在、脳卒中の連携ノートを作成しています。現在、他の疾病についても検討が進められています。



せい か しひょう
成果指標

しひょうないよう 指標内容	げんじょうち 現状値	もくひょうち ねんど 目標値(29年度)
かしょうきゅうきゅうあんしん へいせい (仮称)救急安心センターさつぽろ(平成 ねんどちゅうかいせつよてい しみん にんちど 25年度中開設予定)の市民の認知度	—	いじょう 50%以上
ちいき いりょうれんけい どうにゆう いりょう 地域医療連携パスを導入している医療 きかんすう 機関数	いりょうき かん 19医療機関 ねんど (23年度)	いりょうき かん いじょう 50医療機関以上
びょういん いりょうあんぜん など かん かんじゃ 病院における医療安全等に関する患者 そうだん まどぐち せつちりつ 相談窓口の設置率	ねんど 93%(23年度)	いじょう 98%以上
かしょうきゅうきゅうあんしん うんえい (仮称)救急安心センターさつぽろの運営 いりょう かん れんけいじ ちたいすう など医療に関する連携自治体数	—	じちたい いじょう 8自治体以上

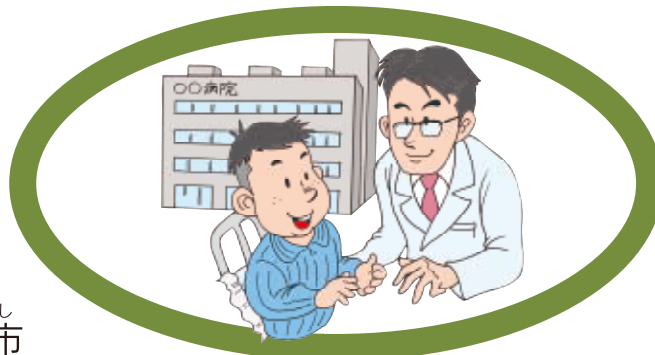
もと やくわり
求められる役割

いりょうき かん
医療機関

しんりょうじょ びょういん れんけい いりょう かいご
診療所と病院の連携、医療と介護の
れんけい しみん しつべい おう いりょう
連携など、市民の疾病に応じた医療
ていきょう いりょうれんけい
を提供することのできる医療連携シ
こうちく
ステムを構築します。

しみん
市民

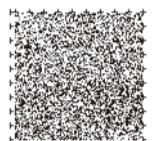
みちか い い せうだんまどぐち
身近なかかりつけ医^{※4}や相談窓口な
とお しつべい しょうじょう おう
どを通して、疾病や症状などに応じ
てきせつ いりょうき かん りょう
た適切な医療機関を利用します。



さつぽろし
札幌市

いりょうき かん きやうどう いりょうれんけい こうちく すいしん
医療機関と協働で、医療連携システムの構築を推進します。
きゅうきゅう いりょう いりょうあんぜん など そうだんまどぐち じゅうじつ きやうか
救急医療や医療安全等の相談窓口を充実・強化します。

※4…ひごろ かんじゃ たいしつ びょうれき けんこうじょうたい はあく しんりょう けんこうかん りじょう じやげん
日頃から患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などもして
くれる身近な医師のことで、市民が主体的に決めていくことが求められます。病状に応じて
せんもん い しょうかい いりょうき のう しょうかい ふ わ おこな
専門医を紹介するなど医療機能の紹介・振り分けを行います。



目標2 地域と結びつけた医療の強化

市民が地域で安心して暮らし続けることができるよう、身近なかかりつけ医などの普及促進、在宅医療^{※5}の充実など、地域と結びつけた医療の強化を推進します。さらに、高齢者等の地域の暮らしを支えるため、地域包括ケア^{※6}における医療の充実・強化に取り組めます。

施策と取組内容の例

① かかりつけ医などの普及促進と地域医療機関の連携

- かかりつけ医・歯科医・薬局^{※7}の普及促進
- 診療所の窓口機能や専門医療への振り分け機能の充実促進

② 在宅療養を支える医療の強化

- 入退院サポートシステム^{※8}などの活用・強化
- 地域医療連携モデル事業^{※9}の実施

③ 地域包括ケアにおける医療の充実と医療・介護の連携促進

- 地域包括ケアにおける医療の充実
- 自主的なネットワーク組織への医療機関の参加促進

④ 地域の医療を支える人材の育成・活用

- 出産や育児等により職を離れた看護師や歯科衛生士の復職支援セミナーの開催
- 医療アドバイザー制度^{※10}の創設

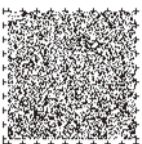
※5…希望する市民ができる限り住み慣れた自宅等で療養し、医師などが訪ねて診療することです。

※6…医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが連携した要介護者等への包括的な支援です。

※7…かかりつけ医と同様に、身近にいて、日頃から患者の病歴や薬の使用歴を把握しており、病気になる際の初期診療や調剤、健康相談等に応じる歯科医師・薬局のことです。

※8…円滑な転院を行うために、インターネットを介して、転院元の医療機関等が入力した患者情報と、転院先の医療機関等の受入情報の照合を行うシステムのことで、札幌市医師会が運営しています。

※9…医療機関連携の推進や在宅療養の支援に向けて、モデルとなる地域を決めて、医療や介護の関係



せい か しひょう
成果指標

しひょうないよう 指標内容	げんじょうち 現状値	もくひょうち ねんど 目標値(29年度)
かかりつけ医を決めている市民	51.4%(20年度)	70%以上
ざいたくりようようし えん いりようき かん すう 在宅療養支援医療機関※11 数	137 か所(23年度)	147 か所以上
ち いき いりようれんけい しぎょう しん き しぎょう 地域医療連携モデル事業(新規事業)の じっし は きゆう ち いきすう 実施・波及地域数	—	ち いき いじょう 3地域以上
いりよう せい ど しん き そうせつ 医療アドバイザー制度(新規創設)への とうろく にんずう 登録人数	—	にん いじょう 10人以上

もと やくわり
求められる役割

いりようき かん
医療機関

かかりつけ医の普及や在宅医療の充
じつ いりよう かい ご れんけい ていきよう
実、医療・介護連携サービスの提供
など、地域に身近な医療機能を強化
ち いき み ちか いりようき のう きようか
します。

しみん
市民

けんこう かい ご よ ほう こうれいしゃ せ たい
健康づくり、介護予防、高齢者世帯
の見守りや生活支援活動など市民が
み まも せい かつ し えん かつ どう し しみん
支え合う互助活動に取り組みます。
ささ あ ご じよ かつ どう と くり ぐ み ます。



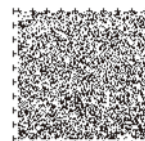
さつぱろし
札幌市

ち いき いりよう じゅうじつ む いりよう ほけん ふくし ぶん や
地域における医療の充実に向けて、医療・保健・福祉分野の
た よう しゆたい れんけい じっせんかつどう し えん そくしん
多様な主体の連携や実践活動を支援・促進します。

しゃ すす ち いき じつじょう おう いりようき かん そうご いりよう かい
者などのネットワークづくりを進めるとともに、地域の実情に応じた医療機関相互、医療と介
ご れんけい とりくみなど じっせん とりくみ じれい はっしん た ち いき はきゆう
護が連携した取組等を実践します。また、取組事例を発信することにより、他地域への波及を
はか
図ります。

※10…医療機関のかかり方や薬の知識など、市民の医療に関する相談ニーズに対応するため、専門
いりようき かん くすり ちしき し しみん いりよう かん そうだん たいおう せんもん
家などを医療アドバイザーとして登録し、地域における自主的な学習会などに派遣します。
か など いりよう とうろく ち いき じしゆてき がくしゅうかい は けん

※11…患者が住み慣れた自宅等で療養などができるよう、24時間体制で往診や訪問看護を実施す
かんじゃ す な したくなど りょうよう し かんたいせい おうしん ほうもんかん ご じっし
る診療所や病院のことです。
しんりょうじよ びやういん



目標3 市民の健康力・予防力^{※12}の向上

市民が生涯を通して自身・家族の健康づくりや疾病予防・早期発見等に自主的に取り組み、健康で生き生きとした暮らしを維持していくことができるよう、疾病予防・健康増進を重視した情報発信や普及啓発、相談機能の強化等を推進します。

施策と取組内容の例

① 医療・保健に関する情報発信と普及啓発の強化

- 市民の健康診断受診の促進
- 健康や疾病予防に関する普及啓発

② 医療に関する相談機能の充実と広報の強化

- 産婦人科救急相談電話^{※13}等の各種相談窓口の運営
- さつぼろ医療ガイド^{※14}の作成

③ 医療・保健・福祉の相談窓口の連携強化

- 地域包括支援センター^{※15}等の医療・介護の相談体制の充実
- 保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業の実施

④ 医療情報分析手法^{※16}の構築と情報の共有化

- 医療情報分析手法の構築
- さつぼろ医療白書の作成

※12…国の新健康フロンティア戦略^{※12}等で使用されている文言であり、本計画においては、市民の健康を維持する力（健康力）、疾病を予防する力（予防力）として使用しています。

※13…助産師による産婦人科疾患に関する救急電話相談であり、夜間の問合せに応じます。

※14…身近な医療機関や相談窓口、医療機関受診時の留意点等が掲載された冊子です。（新規作成）

※15…高齢の方々が住み慣れた地域で自立した生活を続けられるように、介護予防支援の拠点となるものです。（平成24年3月現在21か所）



せい か しひょう
成果指標

しひょうないよう 指標内容	げんじょうち 現状値	もくひょうち ねん ど 目標値(29年度)
まいとしけんこうしんだん う けてい る し 民 毎年健康診断を受けている市民	60.5%(20年度)	70%以上
さっぽろいりょう しん き さくせい し さっぽろ医療ガイド(新規作成)を知っ ている、又は活用したことがある市民	—	50%以上
さん ふ じん か きゅうきゅう せいしん か きゅうきゅう いりょうあんぜん 産婦人科救急、精神科救急、医療安全 など いりょうそうだんまどぐち し 民 にん ち ど 等の医療相談窓口の市民の認知度	—	50%以上
いりょうじょうほうぶん せき けいさい 医療情報分析が掲載されているさっぽろ いりょうはくしょ しん き さくせい り ょう 医療白書(新規作成)を利用している医療 き かん 機関	—	25%以上

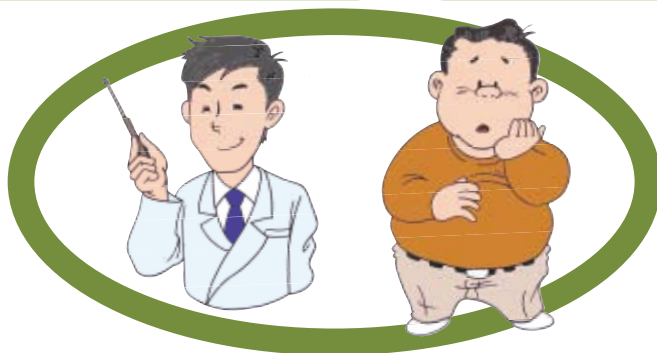
もと やくわり
求められる役割

いりょうきかん
医療機関

けんこう しつ べい よ ほう かん
健康づくりや疾病予防に関するセミ
ナーを かい さい し 民 じょうほう
開催するなど、市民への情報
ていきょう と く
提供に取り組みます。

し 民
市民

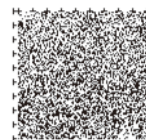
てい き てき けんこうしんだん じゅしん ひ ごろ けん
定期的な健康診断の受診、日頃の健
こう せい かつしゅうかん かい ぜん しつ べい
康づくりや生活習慣の改善など、疾病
の せう き はつ けん よ ほう と く
早期発見や予防に取り組みます。



さっぽろし
札幌市

かくしゅそうだんき のう じゅうじつ し 民 たい しつ べい よ ほう けんこうしんだんじゅしん
各種相談機能の充実や、市民に対して疾病予防や健康診断受診の
そくしん はか いりょう じつたい しょうらい よ そく いりょうじょうほうぶん せき しゅ ほう
促進を図ります。医療の実態や将来予測などの医療情報分析手法
こうちく しょうほう はつ しん
を構築し、情報を発信します。

※16…けんこうほけんなど かつよう し 民 しつべいじょうきょう いりょう じゅきゅうじょうきょうなど かん げんじょうはあく どうこう
健康保険等のデータを活用し、市民の疾病状況、医療の需給状況等に関する現状把握、動向
ぶんせき しょうらいよ そくなど おこな
分析、将来予測等を行うものです。



めざすべきまちのイメージ

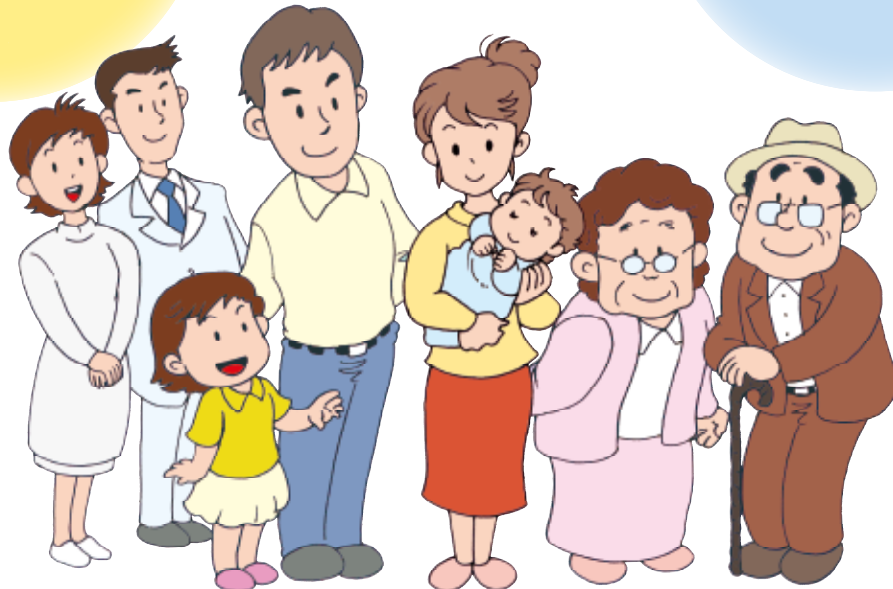
かかりつけ医を持つ市民の割合や健康診断を受け、市民の割合が増え、疾病の予防や早期発見が進んでいます。

医療機関では、医療安全の推進に努めており、医療従事者と患者・家族のよりよい信頼関係が構築されています。

診療所と病院の連携、医療と介護の連携などにより、それぞれの機能に応じた役割分担が進み、医療を切れ目なく効果的に受けることができます。

急に具合が悪くなって救急医療機関の受診を迷った時に、相談窓口で対応方法や受診先のアドバイスをしてくれます。

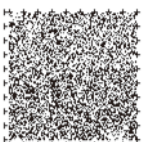
医療・保健・福祉の各種相談窓口の連携が進み、さまざまなサービスが円滑につながっています。



お問い合わせ先

札幌市保健福祉局保健所医療政策課

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
 電話 011-622-5162 ファクス 011-622-5168



さっぽろ市
01-H06-11-1963
23-1-147



R100

古紙100%配合・100%再生紙を使用
古紙配合率100%
再生紙を使用しています。